2011年（平成23年） 6月17日（金曜日） 夕刊 矢祭 夕刊矢祭新聞社 日刊（日曜・祭日・第二・第四土曜休刊） 月額1,000円
（NO，10813） 友引（旧 5月16日） 矢祭町東舘字桃木町42-2 発行人 菊池正典 ☎46-3508 昭和57年12月6日第3種郵便物認可

ニュータウン敷地の調査及び復旧を求める意見書 追加議案二件議決し閉会

原発事故の早急な収束と県内全ての原発廃炉を求める意見書と東電への要請書提出も議決

矢祭町議会六月定例会は、日程の四日目の午後、前日に提出されたさか町原発事故の早急な収束と県内すべての原発廃炉を求める意見書」と「矢祭ニュータウン敷地及び復旧調査を求める意見書」の二件が追加され全会一致で議決した。

「矢祭ニュータウン敷地及び復旧調査を求める意見書」は、十一日の大地震により町道の陥没・亀裂や敷地の浮上など、ニュータウンの造成地に被害が発生したことから、敷地の調査及び復旧をの求めるもの。

「原発事故の早急な収束と県内すべての原発廃炉を求める意見書」は、東電福島第一原発事故の収束と県内全ての原発廃炉を求めるもの。

「矢祭ニュータウン敷地及び復旧調査を求める意見書」は、十一日の大地震により町道の陥没・亀裂や敷地の浮上など、ニュータウンの造成地に被害が発生したことから、敷地の調査及び復旧をの求めるもの。

「原発事故の早急な収束と県内全ての原発廃炉を求める意見書」は、東電福島第一原発事故の収束と県内全ての原発廃炉を求めるもの。

議案全てを議案審議に入り、議案八件、一件ずつ提案理由の説明を求めた。

菅直人内閣総理大臣と佐藤雄平福島県知事に対し提出同時に、東京電力株式会社清水正孝社長に対し要請書を送付することになった。

「原発事故の早急な収束と県内全ての原発廃炉を求める意見書」を古張町長宛いてくことと。

「原発事故の早急な収束と県内全ての原発廃炉を求める意見書」を提出すること

二期目の施策抱負等聞く
定例町議会
きのう七議員が一般質問

大震災・放射能風評、今後の防災
町長選結果など活発な論戦を展開

目議の会定例町十三日六午後一時、十九人全員が出席して開かれた。
前日は一般質問が行われ七議員が一般質問を行った。
一般質問は、防災対策、鈴木一議員は、防災施策、家具転倒防止器具（高齢者世帯）の設置について、自主防災組織の育成について、古張町長は「水害などいつ何が起こるか分からないのでマップ作成や避難場所を周知徹底していく」「家具転倒防止器具は設置を推進していく」と答弁した。
矢祭仕入れについて、古張町長は「出来る限り町内業者優先にするよう指導し、町外はかなり安くなるが町内だと高くなるなど町の物もあるが町外から仕入れると値段が同じなら町内から仕入れる」と答弁した。
古張町長はユーパル（倒防止器具）につい対策（避難場所と案内板）について、家具転倒防止器具は、防災施策、解姿勢について、町政運営について、町長は「投票しないでいただきたい」と答弁した。
古張町長は「今回の選挙で町政と語った。
鈴木敏男議員は「町長選、町議選、町長選挙戦」「私物化、私物化ただいたでいない」「自ら命令した」「でいたではない」「天下りと適材人事」「原発事故による放射能測定について、原発事故と放射能汚染の対応について、国道一一八号山野井カーブ除去について、古張町長は「投票しないでいただきたい」「原発事故をめぐって」「今の大会は」「原発をのぞみます」「事故を守ることを」「事故の対応について」と質問した。
古張町長選結果について、古張町長は「反対だといわれる人は反対だといわれる人は反対だといわれる人は